

「ひょうたん」の灯が消える夜に思うこと

高校時代の一つ上の先輩であり、長年通い続けた居酒屋「ひょうたん」が閉店することになりました。

7月15日の最終営業日には、閉店の知らせを聞きつけた高校時代の同級生が東京から帰省し、久しぶりに再会して最後の夜を「ひょうたん」で過ごしました。笑い声の絶えない店内で、昔話に花を咲かせながら過ごした時間は、とても心に残る一夜となりました。

店主の藤田さんとは、高校時代に社会的なテーマを学ぶ部活動で知り合いました。卒業後も交流は続き、彼が勤めていた飲食店でアルバイトをさせてもらったこともあります。当時の私は、自分のテーマにこだわって写真を撮り続けていたものの、写真だけでは生活できない「食えない写真家」でした。そんな私を経済的にも支えてくれた恩人の一人です。

その後、店主は勤め先から独立し、自分の理想とする店として「ひょうたん」を開業しました。そして長年にわたり、多くのお客さんに愛され続けてきました。飲食店の入れ替わりが激しい時代の中で、これほど長く地域に根付いた店は本当に貴重な存在だったと思います。

「ひょうたん」の魅力は、料理だけではありません。何より店主自身が店の看板でした。カウンター越しに響く大きな声と豪快な笑い声、お客さん同士が自然と会話を始める温かな空気。その独特の雰囲気、多くの人を惹きつけてきました。

料理も個性的でした。「鰯のぼったくり」という思わず笑ってしまう名前の一品は、新鮮な鰯に玉ねぎのスライスを添え、ポン酢でいただくシンプルながら絶品の料理です。そして名物の大きなかき揚げは、エビがたっぷり入った食べ応えのある逸品で、多くの常連客に親しまれていました。

家族ぐるみの付き合いもありました。子どもたちが小さい頃には、お互いの家族で海や川へ出掛け、バーベキューを楽しんだことも何度もあります。子どもたちは毎回その日を心待ちにしていました。時が流れ、今では藤田さんの息子さんが海水浴場でライフセーバーを指導する立場になっていると聞くと、長い歳月の流れをしみじみと感じます。

さらに、この日の再会では、私にとって懐かしいご縁を思い出す出来事もありました。

2000年頃から約5年間、私は「陽転市場」というネットショップを運営し

ていました。当時はまだネットショップ自体が珍しい時代でしたので、売り上げは決して大きくありませんでした。しかし、「先駆けて挑戦することに意味がある」という思いで続けていました。

私が紹介したかったのは、単なる名産品ではなく、独自の哲学やこだわりを持ってものづくりをしている生産者や工芸家の皆さんでした。その一人が、ひむかたなか園の田中さんです。

一般的なトマト栽培は水耕栽培が主流ですが、田中さんはトマトの原産地であるアンデスの環境にならい、水分を極力制限してあえてストレスを与えることで糖度を高める独自の栽培方法に取り組んでいました。その強いこだわりで共感し、「陽転市場」で紹介させていただきました。

今回、その田中さんのトマトを「ひょうたん」でも取り寄せて使っていたことを初めて知りました。25年近く前に私が出会った生産者と、藤田さんの店が、知らないところでつながっていたことに、大きな感動を覚えました。

人との出会いは、その時だけで終わるものではありません。それぞれが歩んできた人生の中で、思いもよらない形で再び交わることがあります。

「ひょうたん」の暖簾は下ろされますが、そこで育まれた人とのつながりや思い出は、これからも私たちの心の中で生き続けていくのでしょうか。

長い間、本当にお疲れさまでした。そして、たくさんの楽しい時間を有難うございました。





左寄り伊地知氏、店主・藤田氏、田中氏と小林



2000年に立ち上げた陽転市場

ネットショップ <http://www.yoten.com/>

陽転市場ついに“現実”に出店!

ネットショップである陽転市場が「人権フェスタ2002 みやざき」主催は国と県の共催で行われるイベントに参加することになりました。現実にショップがなく、インターネットのなかで仮想ショップとして運営している陽転市場が、現実の空間に出現して展示即売会を行いますので、是非こだわりの工芸家、農産物生産者が精魂込めて作られた生産物を、現実に見て触れて体感して頂き、お気に入りとしてお買い求めいただければ幸いです!

日時 2002年10月13日(日)～14日(月・体育の日)
場所 シーガイアワールドコンベンションセンターサミット&イベント広場
内容 作家 五木寛之氏講演会 / 谷川俊太郎・賀作さん(詩と音楽)コンサート
 木下航志君コンサート / 金子みすずの世界展&歌曲コンサート
 早瀬久美さん(聴覚障害者薬剤師)講演会 / 高田マミ・トークコンサート
 アーティスト・長友裕子さん指導の陽転市場ワークショップ「木を編む」も同時開催です。